

市民懇話会意見集（第3回及び第4回会議録抜粋）

（1）「災害に備える防災拠点機能」について

- ア 免震構造である消防本部で震災を経験しているので、免震構造を基本にするべき。
- イ 立川市は、地下を駐車場にしているようだが、日立では備蓄倉庫をつくるべきではないか。また、県庁の災害対策室は使い勝手が良いので、最初からこのようなものをつくった方が良い。さらに、都庁の対策本部のように、被災地の状況を映せるような設備があれば良い。
- ウ 近年の雨量が異常であることから、新庁舎の後ろを流れている川からの冠水の心配はないのか。
【事務局回答】庁舎建設に伴い、雨量計算に基づく河川の改修についても予定している。
- エ つくば市とは土地の状況が異なるので、日立では（敷地が狭いので）地下駐車場を考える必要があるのではないか。
- オ 去年の震災を経験し、専用の対策本部室は絶対に必要であると思う。何もなければ別の用途に使用すればよい。
- カ 専用にしてしまうともったいないので、部屋を仕切れるようにして、研修など多目的に使えるように配慮しても良いのではないか。
- キ 対策本部は24時間の対応が必要なので、宿泊機能も備えた方が良い。
- ク ライフラインの対応だが、震災時は、飲み水はもちろんだが、トイレについては大変困った。雨水などの中水利用の設備があれば良い。また、つくば市のトイレはすべて自動水栓であったが、災害時の対応としては手動も取り入れてほしい。
【事務局回答】雨水貯水槽や井戸の掘削による生活用水の確保は必要と考えている。また、公用車や非常電源用の燃料の備蓄などを考えている。

（2）「便利で利用しやすい庁舎機能」について

- ア どのスペースにどのような機能があれば良いのか、我々はよく分からない。来庁者のことを考えた、モデル的なデザインはないのか。
【事務局回答】市民課や福祉部門など、市民が多く訪れる部署については、1、2階の低層階に配置することを想定している。また、西尾市などは、この1・2階の一体化を図るためにエスカレーターを設置している。さらに、業務の観点からは、1つの部が同じフロアの方が効率がよい。
- イ 庁舎が5つあること自体が異常で、一体化はメリットが大きい。駐車場も大きくできるのではないか。また、公共交通機関の配置や駐車場の屋根にも配慮してほしい。
- ウ 高齢者や障害者の駐車スペースは、広く確保する必要がある。また、子どもを連れた母親にやさしい駐車場を検討してほしい。
- エ 1階と2階のつながりについて、つくば市は広い階段やエレベーターがあってよいと感じた。エスカレーターは、お金がかかると聞いている。金沢21世紀美術館には、地下と1階をつなぐ、全面ガラスの開放的なリフトが設置されていた。リフトならそれほど金額もかからないのではな

いか。

オ 水戸の植物園のギャラリーは、階段とスロープが一体化しており、災害時に利用できるようなになっている。今は、非常階段ではなく、非常スロープという考え方も出てきている。

カ 市役所を一体化するのであれば、全体がわかる案内板が必要である。

キ 案内板は、ボタンを押せば行き先が表示されるような、分かりやすいものを導入してはどうか。

ク 日立駅は音声案内がある。つくば市の1階には、点字機能の案内板があり、掲示が高くても全部は読めなかったが、良かったと感じた。

ケ 例えば、納税課等のサインは感情を静める色彩にするとか、福祉課は子どもの情緒面を揺さぶらないような色彩にするなど、色彩計画も検討してみてもどうか。

コ つくば市は、椅子の背面など、目線が低い位置に案内表示があったので、参考になるのではないかな。

サ 点字ブロックは、車椅子にはバリアになってしまうので、あえてそこを避けて通らなければならない。つくば市は通路が広いので、点字ブロックがあってもあまり気にならないが、屋外の点字ブロックは、景観的な問題だと思うが、地面の色と統一されていたのでわかりづらい。良く見えないので、間違えて車椅子でのぼってしまう可能性がある。

シ 手洗いなどは、余裕があれば子供用の洗面台を設置してほしい。

ス 現庁舎の多目的トイレは、数年前にオストメイトが設置されたことで、逆に私は使えなくなってしまった。制度的には問題ないが、構造的には使えないトイレである。新庁舎でユニバーサルデザインを導入するのであれば、制度面だけでなく構造面にも配慮してほしい。また、資料にある西尾市の「だれでもトイレ案内板」は、トイレの中がわかって非常に良い。

(3) 「柔軟で効率的な執務機能」について

ア フリーアクセスフロアは、深さをしっかりと検討してほしい。また、床材についても、つくば市でも話があったように、車椅子の方や掃除等のメンテナンスなどをよく考えて検討願いたい。

イ JWAY（ケーブルテレビ）の加入率も増加しており、議会を傍聴するだけでなく、茶の間で映像を見て、議員の活動を知ることができるような情報公開に努めることが大切である。

ウ つくば市の議場は、傍聴席のスロープが歩っていて怖かった。また、床が立派過ぎるのではないかなと思う。議場も身近なものにする必要があるのではないかな。

エ 議場もフラットなバリアフリーにして、市民に親しまれる場としてほしい。

オ 防犯カメラと中央監視機能は、しっかりした施設が必要。特にサーバー室は、ICカードでは貸してしまうので、生体認証としてほしい。また、休日における施設内の区分をきちんと行い、人が侵入できないようにしてほしい。

(4) 「経済性に配慮した環境にやさしい庁舎」について

ア つくば市は、低階層は自然換気や自然採光が考慮されていて良かったが、3階以上は曇囲気が一変したので、工夫する必要がある。

イ 複数のエネルギー媒体を準備することが、災害対応等に必要。

ウ LED照明の技術もかなり進んでいるので、導入の検討を行う必要がある。

エ 屋上を、緑化した場合と太陽光パネルを敷き詰めた場合の費用対効果について、太陽光パネル

は設備の劣化や交換の問題もあるので、慎重に検討した方がよい。

オ 屋上緑化は、維持管理が難しい部分が多い。経費の面から見ても、太陽光パネルや雨水利用の方が有効。

カ 自然の活用は必要だが、自然採光を導入したために、室内の温度が上がり、後から空調設備を導入したという例もあるので、建物内の環境を良くするための設備は必要。

キ スケルトン・インフィルについて、機能的には良いと思うが、景観的には賛否両論がある。景観的なところも意識する必要がある。視線を工夫すれば、あまり予算をかけなくても可能。

(5) 「市民が集う交流機能等」について

ア 市役所を公用財産に区分すると、市役所には、市民が使える会議室は作れないということか。

【事務局回答】市が主催する会議には使用できるが、町内会あるいは趣味の会のように、市民が主体で使うようなことは想定していない。

イ 市役所に、ボランティア団体が使えるような会議室があれば助かる。市のために活動をしているのに、場所がないので会合ができないというのは残念。強く要望したい。

【事務局回答】市が直接関与しない場合は難しい。市が事務局であれば、使用できる。一般の方が、市民会館やシビックセンターの会議室を利用するような、いわゆる公共施設のような使い方は難しい。

ウ 市民の会議室利用は、一線を引く必要がある。市役所であるから、何でも貸すというのでは、収集がつかなくなってしまう。

エ 新庁舎で会議室がたくさんできれば、その分、市民用の公共施設の会議室が使えるようになるのではないか。

オ 教育プラザの機能が新庁舎に入るが、国際交流サロンや教育相談機能はどうなるのか。

【事務局回答】公共施設か、公共用施設かに基づいて区分したいと考えており、新庁舎の中がよいかどうかについては、担当課と協議する。

カ レストランは、本格的なものではなく、職員が使えるものをつくり、それを市民も自由に使えるという形が良い。

キ 昔は、高校生が集まる場所があったが、今は駅前の商業施設からも店舗が撤退している状態である。そのような場所が市役所内にできて、学生たちがボランティアなどの時間外教育の場となれば良いのではないか。

ク 駐車場は有料か、無料か。

【事務局回答】今のところ有料化は考えていない。

ケ レストランは、高い場所から景色を見渡せるようになると、気分転換にもなるのではないか。ただし、実用的には下の方が良いのかもしれない。

コ 東京では、高層階に食堂がある事務所もあるが、エレベーターに人が集中して利用しづらい。市民の立場からすると景色がいい方がよいが、メインが職員であれば、利用しやすさを中心に考えると良い。

サ 水戸医療センターは、レストランが最上階にあり、多くの人が利用している。病院なので、カロリーも計算されている。安くて、味も景色も良い。震度5弱の際にもエレベーターは自家発電で動いていた。総合的に考えれば、上の階にあった方が良い。

- シ 職員が弁当を食べられるようなバックヤードが必要。
- ス 情報発信・共有機能については、市内23の交流センターに情報発信スペースを持っているので、そこにはないものをつくった方が良い。
- セ パンフレットの設置場所を、1ヶ所に集中させる必要がある。また、ケーブルテレビや、イベント、観光などのPRビデオを置き、できるだけ情報を更新した方が良い。
- ソ 各学区でどのようなことを行っているのかを、タッチパネル式で情報検索できるようになると良い。紙媒体だと、どこに何があるのか探すのも難しい。

(6) その他の意見

- ア 市庁舎を市民が誇れる顔にしてほしい。その中で、景観は機能としては重要。景観はぜいたくではなく、お金をかけなくても良くすることは可能である。
- イ 全体の形としては、平凡ではあるが、長持ちさせるためにも、左右対象でオーソドックスな形態が良い。

以 上

【参考：第3回・第4回 日立市新庁舎建設市民懇話会会議録】

▶ 第3回

会長：前回視察したつくば市庁舎は、敷地規模がかなり違うものの、取り入れるべき機能は認識できたと思う。本日の進め方は、3つの機能に関して、3回に分けて議論したい。

事務局：（「災害に備える防災拠点機能」について説明）

会長：まず、耐震性能に関する意見をいただきたい。事務局案は、免震構造で進めたいとのことであるが。

委員：免震構造である消防本部で震災を経験しているので、免震構造を基本にするべきだと思う。

委員：賛成である。消防本部は被害がほとんどなかったが、県庁は耐震構造であったため、建物内部が大変であったと聞いている。立川市は（免震構造の）地下を駐車場にしているようだが、日立では備蓄倉庫をつくるべきではないか。また、県庁の災害対策室は使い勝手が良いので、最初からこのようなものをつくった方が良い。さらに、都庁の対策本部のように、被災地の状況を映せるような設備があれば良い。

会長：免震構造が良いとの意見が多いが、これで異論はないか。（「なし」との声あり。）

委員：建物の構造の話から始まったが、その前に、近年の雨量が異常であることから、新庁舎の後ろを流れている川からの冠水の心配はないのか。

事務局：庁舎建設に伴い、雨量計算に基づく河川の改修についても予定している。

委員：市役所の海拔は何メートルなのか。津波の心配はないのか。

事務局：海拔42mであり、津波の心配はない。また、地盤についても、現在ボーリング調査中であるが、予想より固い地盤であるので、参考までに報告する。

会長：地下の活用について意見はないか。

委員：つくば市とは土地の状況が異なるので、日立では（敷地が狭いので）地下駐車場を考える必要があるのではないかと。また、液状化対策も含めて検討をお願いしたい。

事務局：数沢川は昭和20年代に作られた河川で、老朽化しているため、今回、新庁舎と一体的な改修を行っていききたい。

委員：免震構造にも耐用年数はあるのか。

事務局：正確な年数については難しいが、免震装置を取り替える時期はある。

委員：取り替えるのでは、工事期間などもあるので、地下駐車場は難しくなるのか。車椅子利用者にとって、雨天時などに地下駐車場はありがたい。

事務局：地下駐車場の利用を妨げるような工事ではないと考えている。

会長：免震構造の耐用年数について、情報が入ったら教えてほしい。

事務局：明確ではないが、20～30年以上のスパンではないかと思う。

委員：免震構造のゴムは進化しており、RC造は耐用年数50年と言われているが、ほとんど変わらない。免震構造は、地震に対してすばらしい構造であり、新しい構造を取り入れるべきである。

会長：では、耐震性能については免震構造を取り入れることと、地下駐車場や備蓄倉庫としての活用を検討するということがよいか。

委員：震災の時に電気がストップしたが、太陽光パネル等の設置によってエネルギーを備蓄するなどの

考えについてはどうか。

事務局：その件に関しては、次回の懇話会において、環境のテーマの中で説明したいと考えている。

会長：災害対策本部についてのご意見をお聞きしたい。つくば市には防災会議室があったが、災害対策本部とは違うものか。

事務局：おそらく、つくば市の場合は、震災前に設計を行っているため、専用スペースではなく、会議室対応なのではないかと思う。

委員：昨年の震災を経験し、専用の対策本部室は絶対に必要であると思う。何もなければ別の用途に使用すればよい。震災後の復旧復興に関する事務や通常事務を並行して行えるようにすることが大事である。

委員：同感です。日立市は震災を経験してからつくるのであるから、つくば市より良い対策室をつくらなければならない。

委員：専用にしてしまうともったいないので、部屋を仕切れるようにして、研修など多目的に使えるように配慮しても良いのではないか。

事務局：県庁は専用であるが、効率的な活用も考えていきたい。

委員：県庁も会議等で使用しているので、多目的な利用をしたらよいのではないか。

副会長：対策本部は24時間の対応が必要なので、宿泊機能も備えた方がよい。また、陸の孤島に対応するには、空からの対応も必要なので、ヘリポートの設置も必要ではないか。

事務局：災害時は、昼夜を問わず対応するため、たくさんのスペースは必要ないが、仮眠室についても対応したい。別な用途に利用することもできる。また、ヘリポートについては、たまたま消防本部にあるので、場合によってはそちらを活用したい。現在の庁舎敷地では、ヘリポートの空間を確保するのは難しいと考えている。

会長：それでは、専用の対策本部室を設置し、多目的な利用を検討すること、夜間利用の為に仮眠室を設置すること、ヘリポートの件についても頭に入れて置くということによいか。

委員：ライフラインの対応だが、水の件についてお聞きしたい。震災時は、飲み水はもちろんだが、トイレについては大変困った。下水道が機能していたので、水を流せばトイレが使えたのはすばらしいが、問題は水である。雨水などの中水利用の設備があればよいと思う。つくば市の雨水貯水槽は参考になる。また、つくば市のトイレはすべて自動水栓であったが、災害時の対応としては手動も取り入れてほしい。

事務局：雨水貯水槽や井戸の掘削による生活用水の確保は必要と考えている。また、震災の教訓を踏まえて、バックアップ機能として、消防本部に燃料用の備蓄タンクを設置することとしている。これは災害活動用の燃料であるが、本庁においても非常電源用の燃料の備蓄などを考えている。

委員：消防拠点と庁舎との備蓄機能が重複するのではないか。

事務局：消防本部の備蓄は救急活動用で、本庁の備蓄は、公用車や非常電源用の燃料と考えている。今回は想定外の燃料不足が生じたため、施設ごとの備蓄が必要であると判断している。

会長：では、水の確保やトイレの手洗い、燃料等の備蓄についても検討するということがよいか。

事務局：（「便利で使用しやすい庁舎機能」について説明）

会長：庁舎を一体化することについては異論が無いと思う。具体的に、どのようなものを集約したらよいか、意見を出していただきたい。

委員：どのスペースにどのような機能があれば良いのか、我々はよく分からない。来庁者のことを考えた、モデル的なデザインはないのか。

事務局：市民課や福祉部門など、市民が多く訪れる部署については、1、2階の低層階に配置することを想定している。また、西尾市などは、この1・2階の一体化を図るためにエスカレーターを設置している。さらに、業務の観点からは、1つの部が同じフロアの方が効率がよい。したがって、市民の利用を第1段階で考え、次に業務の効率性を考えた配置になると思う。ただし、これまでに視察を行ってきた中では、様々な状況により、必ずしもそうならない事例も見受けられる。

委員：庁舎が5つあること自体が異常で、一体化はメリットが大きい。駐車場も大きくできるのではないか。また、公共交通機関の配置や駐車場の屋根にも配慮してほしい。

会長：資料には、教育プラザと企業局も書いてあるが、新庁舎では一緒になるのか。

事務局：そのように考えている。

委員：立体駐車場の考え方はあるのか。

事務局：駐車場の利用台数を考えると、現在でもそれほど不足はしていない。新庁舎では、さらに広い駐車場面積を確保できるので、利用状況を見ながら考えていきたい。

委員：高齢者や障害者の駐車スペースは、広く確保する必要がある。また、子どもを連れた母親にやさしい駐車場を検討してほしい。

委員：1階と2階のつながりについて、つくば市は広い階段やエレベーターがあってよいと感じた。エスカレーターは、お金がかかると聞いている。妹島氏が設計した金沢21世紀美術館には、地下と1階をつなぐ、全面ガラスの開放的なリフトが設置されていた。エレベーターは上部に設備がたくさんあるが、リフトならそれほど金額もかからないのではないかと。

事務局：1階と2階の動線については、どのような移動手段がよいのか検討している段階である。ランニングコストを考えた場合、人の動線を考えた場合、それぞれメリット、デメリットがあるので、今後、詳細に検討していきたい。

委員：つくば市のエレベーターは、中が見えるもので、わかりやすく良かったと思う。また、1階にいても、2階のカウンターの様子分かるようになっていた。

委員：エレベーターとエスカレーターを使う話が前提になっているが、例えば、車椅子の方が、非常時にスロープで降りられるようなスペースはつくれないのか。

会長：緊急時の対応は大切である。

委員：水戸の植物園のギャラリーは、階段とスロープが一体化しており、災害時に利用できるようになっている。今は、非常階段ではなく、非常スロープという考え方も出てきている。

会長：移動の選択肢として、エレベーター、エスカレーター、リフト、スロープ等の意見が出たが、よく検討していただきたい。駐車場についても、立体や地下などの意見が出たので、必要な駐車場は確保しながら、十分に考えていただきたい。

会長：では、次に案内・窓口・相談機能についてご意見をいただきたい。

委員：直感的に理解できる色やサインも良いが、それを職員が理解していることが重要。色やサインを全ての市民が理解できるわけではないので、最終的には、市の職員の対応がベースとなる。その上でわかりやすいサインとする必要がある。

委員：市役所を一体化するのであれば、全体がわかる案内板が必要である。

委員：案内板は、ボタンを押せば行き先が表示されるような、分かりやすいものを導入してはどうか。

委員：日立駅は音声案内がある。つくば市の1階には、点字機能の案内板があり、掲示が高くして全部は読めなかったが、良かったと感じた。また、トイレのサインが一番大切だと思う。つくば市の女性トイレのサインはわかりやすかったが、男性トイレはわかりづらかった。特にトイレと子どもにやさしいことがユニバーサルデザインだと思う。

事務局：音声案内は、市内では日立駅と十王駅以外には設置されていないのではないかと。これらは、交通バリアフリーの観点から設置されていると考えられる。必要性については十分に検討していきたい。

委員：例えば、納税課等のサインは感情を静める色彩にするとか、福祉課は子どもの情緒面を揺さぶらないような色彩にするなど、色彩計画も検討してみてもどうか。

委員：つくば市は、椅子の背面など、目線が低い位置に案内表示があったので、参考になるのではないかと。

委員：つくば市は、2階には点字ブロックがあまりなかったように思う。入口から点字ブロックで1階の総合案内に誘導され、そこから職員が案内してくれる方法であったが、日立市では庁舎の案内をどのように考えているのか。

事務局：総合案内までは点字ブロックで誘導して、後は職員が案内する方法と、1階と2階の低層階は、全て点字ブロックで案内する方法との、2つの方法があると思うが、どちらが良いのか判断が難しく、御意見をいただきたい。

委員：点字ブロックは、車椅子にはバリアになってしまうので、あえてそこを避けて通らなければならない。つくば市は通路が広いので、点字ブロックがあってもあまり気にならないが、屋外の点字ブロックは、景観的な問題だと思うが、地面の色と統一されていたのでわかりづらい。良く見えないので、間違えて車椅子でのぼってしまう可能性がある。

委員：点字ブロックは、道路のセンターラインと同じように、歩行の目安になるものだと思う。高齢者も目安にしている人は多いのではないかと。

事務局：通路を広くとって、両方が共存できるようなスペースの確保について検討していきたい。

委員：東海村役場は、点字ブロックのある入口と無い入口の2つに分けている。

会長：これまでの意見をまとめると、色彩計画を意識したサインとする、トイレのサインと動線に配慮し、案内板も工夫するということがよいか。

副会長：手洗いなどは、余裕があれば子供用の洗面台を設置してほしい。また、余裕がなければ、台を置くなどの配慮をしてほしい。

委員：現庁舎の多目的トイレは、数年前にオストメイトが設置されたことで、逆に私は使えなくなってしまった。制度的には問題ないが、構造的には使えないトイレである。新庁舎でユニバーサルデザインを導入するのであれば、制度面だけでなく構造面にも配慮してほしい。また、資料にある西尾市の「だれでもトイレ案内板」は、トイレの中がわかって非常に良い。残念ながら、公共施設のトイレは使いづらい。民間の施設の方が使いやすい、というのが現状。

事務局：（「柔軟で効率的な執務機能」について説明）

会長：業務のことなので、実際に携わっている職員の方がよく存じていると思うが、意見を出していただきたいと思う。

委員：フリーアクセスフロアを導入すると思うが、深さをしっかりと検討してほしい。また、床材につ

いても、つくば市でも話があったように、車椅子の方や掃除等のメンテナンスなどをよく考えて検討願いたい。

委員：事務室のスペースの問題で、管理職等が座る位置はどう考えているのか。

事務局：現在は、古い体質の座り方になっている。組織のあり方とも関係しており、部課制ではなく、グループ制等になれば、変わってくるかと思う。庁内の検討会議の中で、事務の効率化も含めて議論したいと思う。

委員：開かれた議会、そして議員の活動情報の公開等については、設備面を含めて、どのような工夫を取り入れていくのか。

事務局：市民課においてテレビ中継を行っているが、必要に応じて拡充を検討したい。また、常任委員会の傍聴スペースの確保も必要であると考えている。議会の方でも、活性化委員会を開催して検討していくということであるので、結果を待ちたいと考えている。

委員：JWAY（ケーブルテレビ）の加入率も増加しており、議会を傍聴するだけでなく、茶の間で映像を見て、議員の活動を知ることができるような情報公開に努めることが大切である。

委員：つくば市の議場は、傍聴席のスロープが歩っていて怖かった。また、床が立派過ぎるのではないかと思う。議場も身近なものにする必要があるのではないか。

委員：議場もフラットなバリアフリーにして、市民に親しまれる場としてほしい。

会長：バリアフリーの観点から、傍聴席をフラットにしたり、また、議会をオープンな場としてほしいということではいか。

委員：防犯カメラと中央監視機能は、しっかりした施設が必要。特にサーバー室は、ICカードでは貸してしまうので、生体認証としてほしい。また、休日における施設内の区分をきちんと行い、人が侵入できないようにしてほしい。

委員：夜間の警備はどうするつもりか。

事務局：中央監視室による集中的な警備を検討している。

委員：つくば市のサーバー室は上の階にあったと思う。休日の安全性を確保してほしい。

委員：今の建物と全く違うものをつくることになる。日立市は、近隣の市町村より庁舎改築が遅れたが、逆に、これがメリットとなるような施設づくりが大切である。震災後の新しい事例を参考にしてほしい。ここ数年で技術も進化しているので、デメリットをメリットにした新庁舎をつくってほしい。

▶ 第4回

会長：今回はたくさんの意見をいただいた。今回は、経済性に配慮した環境にやさしい庁舎、市民が集う交流機能等の2点について、アイデアや意見をいただきたい。議題に入る前に、前回質問いただいた内容に関する回答を事務局の方で用意してあるので、説明いただきたい。

事務局：（補足資料「免震装置の耐久性、数沢川の排水能力」について説明）

委員：免震装置の耐用年数が60年ということだが、その期間を過ぎて取り替える場合、建物を壊さなくても取り替えが可能なのかを確認したい。

事務局：建物をジャッキアップして交換することが可能である。

委員：話で聞くと簡単だが、本当に大丈夫なのか。

委員：今の工法で行えば問題ない。

委員：川の排水能力については、データと過去の実績からすれば納得できるが、九州地方で起きている集中豪雨などを考えた場合、80mmや100mmの計算値で大丈夫なのか。

事務局：過去の実績をもとに、さらに安全側に見込んで設計するなど、十分に考慮したい。

会長：川の断面も広がるのか。

事務局：検討していきたい。

委員：庁舎内に、川の水が入り込む心配があったので確認した。流木が詰まって溢れることも考えられるのではないかと。

事務局：建物の造り方についても、万一のことを考えて十分に配慮していきたい。

会長：大事なことだと思う。それでは議題の方に入るが、前回同様、機能ごとに進めたい。

事務局：（「経済性に配慮した環境にやさしい庁舎」について説明）

委員：つくば市は、1・2階部分が自然換気や自然採光が考慮されていて良かったが、3階以上は曇囲気がガラッと変わったような気がした。あの辺りは、少し考慮する必要があると思う。

事務局：配慮していきたい。

会長：自然採光は、太陽光と一緒に熱エネルギーも取り込んでしまうが、最近では、熱エネルギーだけを遮断できるものも出てきていると聞いている。値段は高いのだろうが。

委員：太陽光パネルは、どの位のエネルギーをカバーしようとしているのか。他の例を見ると、PR目的の設備になっているような気もするが。

事務局：1つのエネルギーで全体を賄うのは困難であると考えている。逆に、複数のエネルギー媒体を準備することが、災害対応等にも必要だと思う。ガス発電を採用している例もある。今後、具体的に検討していきたい。

委員：全く同感で、前回の災害対応の議論の延長にもなるが、ぜひ検討してほしい。

事務局：市民交流センターにも太陽光パネルと蓄電池を配備していきたいと考えている。蓄電池は日々進化しており、その辺りを踏まえて検討していきたい。

委員：LED照明もかなり進んでいるので、少なくとも検討は行ってほしい。

委員：費用対効果を考えると、太陽光パネルよりLEDの方が効率的であると思う。

委員：LEDもそうだが、他市の事例を見ると、屋上緑化、雨水利用、自然通風の利用については、それぞれ理由があるのだと思う。たとえば、屋上を緑化した場合と、太陽光パネルを敷き詰めた場合とで、費用対効果はどうなのか。また、以前に自宅で太陽光パネルを検討した際、減価償却してプラスになるのに15年かかる計算であった。現在は性能も良くなっていると思うが、設備の劣化や交換の問題もあり、慎重に検討してほしい。

会長：省エネ的な発想での緑化であれば、当然、太陽光パネルとの比較検討が出てくると思う。緑化の目的が他にもあるなら別だと思うが。

委員：日立市の場合、年間で天気のいい日はどのくらいあるのか。日照時間による計算も、一つの考え方ではないか。また、新庁舎の屋上面積によっては、溜められる雨量なども違うと思う。そういうことが分からないと、どう答えてよいのか疑問に思う。

事務局：年間の晴天日数は、およそ30%程度と思うが、宿題とさせてほしい。屋上緑化や雨水利用に関しては、一時、環境問題で取り組むビルが増えたが、建物の雨漏りや緑化の維持管理の面でのデメ

リットもあると考えている。屋上の形にも関係するが、自然エネルギーという観点からすれば、雨水をとるのか、緑化による自然放射をとるのか、太陽光をとるのか、といったメリット・デメリットの計算をする必要があると思っている。現在は、まだ具体的なデータを持ち得ないが、今後、積算していきたい。

委員：新しい建物に、光熱費がどのくらいかかると、その何%を自然エネルギーとするのか、そういった見通しがあれば、意見も出しやすいのではないかと。

事務局：現段階では最終的な機能の詰めができていないため、想定が難しい。

委員：10ページに、今の庁舎と最近の建物との比較がされているが、これは当然の結果なので、新しい設計が、他の新しい建物と比べてどうかというのが問題だと思う。

事務局：基本設計のレベルになれば、具体的な数値が出てくると考えている。

委員：私は、屋上緑化はあまりよくないと考えている。維持管理が難しい部分が多い。経費の面から見ても、太陽光パネルや雨水利用の方が有効なのではないかと。

委員：緑化の件で、最近ではLEDで野菜を作ったりしている。職員のストレスを軽減するために、LEDを使いながら緑を育てて、自給自足のような取り組みを行ってもよいのではないかと。レストランなどでもやっているところがある。一石二鳥ではないかと。

会長：家庭でやっているグリーンカーテンなどもそうだと思う。環境共生機能については、自然採光、自然換気については是非、検討いただきたいということ。太陽光パネルについては、他の自然エネルギーとの組み合わせを考え、効率性を検討した上で導入検討をお願いしたい。LED照明については、経済性や効率性などの面から前向きな意見が多かった。屋上緑化については、メリット・デメリットがあるので、屋上の形態による雨水利用や、日照時間等を踏まえた太陽光パネルも含めて、設計段階ではしっかりと比較検討をしていただきたい。

委員：データによる最終的な報告をお願いしたい。

委員：奇抜なアイデアだが、屋上に大きな扇風機をつけて冷たい外気を取り入れるというのも一つの方法ではないかと。

委員：費用対効果が問題になると思う。

事務局：日立は気候もよいので、電力に頼らない、開閉式の窓や自然通風などの手法を有効に取り入れることが重要であると考えている。

委員：自然の活用に越したことはないが、自然採光を行ったら、暑くて後から空調設備を導入したという例もあり、(建物内の)環境を良くするための設備は必要になってくる。

事務局：メリットとしてやったことが、逆にデメリットとならないように検討したいと思う。

委員：自分の家をつくったときに、どこからでも光や風が入るようにした。海が近くて涼しいので、近所でもクーラーはほとんど使っていない。県庁のように吹き抜けの空洞をつくるかどうか分からないが、自然の風と光で仕事ができれば理想的であると思う。

事務局：建物の構造はこれからなので、効率的な事務ができるようにすることが第一だが、それに合わせる形で、自然の取り込みも考えていきたい。

委員：つくば市では、階段部分に明り取りがついていて良かった。

会長：経済性や耐久性に優れた構造、設備については、基本的な考え方については問題ないと思う。ただ、スケルトン・インフィルについて、立川市の例なども機能的には良いと思うが、景観的に納まらない部分もあると思うので、景観的なところも少し意識した方がよい。視線を工夫すれば、あまりお

金をかけなくてもできると思う。

事務局：（「市民が集う交流機能等」について説明）

委員：市役所に入入りする人数は、1日どの位か。

事務局：平成22年に1週間調査した結果、平均で1日1,070人であった。

委員：市役所に会議室が少ないのは前々から気になっていた。つくば市では、会議室が結構あったようだが、それでも少ないということであった。11ページのように、公用財産と公共用財産に区分してしまうと、市役所の中には、市民が使える会議室は作れないということになるのか。

事務局：この会議のように、市が主催して市民の皆様にご参加いただくような場合は使用できるが、例えば町内会の会議のように、市民が主体で使うようなことは想定していない。

委員：「こども芸術祭」の会議は、年間5回ほどあるが、毎回場所がない。教育プラザを使うと、駐車場がないため不便である。事務局が市民活動課なので、そういう会議なら使えると言うことか。

事務局：そうです。

委員：ぜひ、このような会議ができる場所を確保していただきたい。また、地域には色々な団体があるが、各地区の交流センターは利用率がほぼ100%で、申し込んでも取れないことが多い。できれば、市役所に来たついでに、打ち合わせができるスペースがあれば、駐車場が広くて集まりやすいので大変助かる。ギャラリーのようなフリーな空間も、来庁したついでに見ることができるようなものがあれば、出展者のやりがいにもつながり、市民交流の場も生まれるのではないか。

委員：ボランティア団体においても、場所の確保が非常に難しい。私は、各種女性団体連絡会から出ているが、市役所に、ボランティア団体が使えるような会議室があれば助かる。市のために活動をしている団体なのに、場所がないので会合ができないというのは残念である。強く要望したい。

会長：そういったことは可能なのか。

事務局：市が直接関与しない場合は難しい。事務局として市が関わっているものであれば使用可能である。例えば、女性青少年課が事務局であれば、使用できると思う。一般の団体の方が、市民会館やシビックセンターの会議室を利用するような、いわゆる公共施設のような使い方は難しい。

委員：そのあたりは、一線を引かなければならないのではないか。そのために、交流センターや市民会館、シビックセンターがあるのだと思う。市役所であるから、何でも貸すというのでは、収集がつかなくなってしまうのではないか。

委員：市民会館は借りられるが、市全体の活動を行っている団体は、地域の交流センターは借りづらい。市民会館は減免措置もあり、使用料も多少は安くなるが、やっぱりお金はかかる。

委員：交流センターは、確かに地域性もあるが、市民の使う場所ということで、かなり使えるようにはなっていると思う。

事務局：どこかで線を引いておかないと、新しい庁舎では、ますます会議室が足りない状況になってしまう。庁内の会議ができなくなるとは本末転倒になってしまう。

委員：登録制などはできないか。

委員：私も、市の主催する会議に参加することが多いが、市の主催であっても、市役所ではなく、シビックセンターなどで行うことが結構ある。市の庁舎内に、そういった会議室がないからだと思う。市の会議が、庁舎の中でできるようなスペースは確保すべきだし、それで、市民の方が公共施設を利用できるような環境をつくるべきではないか。つくば市でも同様の説明があったと思う。

委員：今は、各課の打ち合わせをするスペースもないと思う。現在の庁舎は、増築々々でつくられており、会議室を確保するという考えもなくやってきたのだと思う。新庁舎で会議室がたくさんできれば、その分、市民用の公共施設の会議室が使えるようになるのではないかな。

会長：会議室の稼働率を調べれば、そのあたりは整理できるのではないかな。

委員：教育プラザの機能がこちらにくるのだと思うが、国際交流サロンや教育相談機能はどうなるのかな。

事務局：公共施設か、公共用施設かに基づいて区分したいと考えており、庁舎の中がよいのかどうかについては、担当課と協議していきたい。

委員：教育委員会の事務局が新庁舎に移るのであれば、関連してそのような機能も一緒に移動した方がよい。

事務局：例えば、国際交流機能は、市民が気軽に出かけて相談するような施設なのか、国際交流という政策を判断する事務を執る機能なのかということをもとに判断していきたい。

委員：県庁に行くと、食堂や売店を利用している人も多い。県庁に会議にきて、その余暇を使って利用しているのだと思う。余暇時間を使って、色々なイベントに参加してもらえそうな形も一つの方法なのではないかな。

会長：会議室については明確に分けた方がよい。レストランについてはどうか。

委員：私は、どちらかというと否定的で、本格的なレストランではなく、つくるのであれば職員の方がきちっと使えるものをつくり、それを市民も自由に使えるという形が良いと思う。市民向けのレストランであれば、近くに無いわけではない。市役所の周りに、大勢の人が一時期に食べられる施設はないので、職員向けの食堂をつかって、市民も気軽に使えるという。それによっては、場所も変えなければならない。県庁は、職員が入れるところがあって、屋上には展望のいいところがある。2つつくる必要はないと思うが、どういう機能を持たせるのかによって場所が変わってくるのではないかな。職員向けのレストランは必要だと思う。

会長：私も職員向けのレストランというイメージだが。

委員：今は、県でも市でも、会議で食事を出すことはほとんどないので、支障はないと思う。

会長：囲い込むのではなく、外に食べに行くという方が、まちには良いのではないかな。

委員：商工会議所としては、外に食事に出てもらうことが理想ではあるが、庁舎にお茶を飲む場所などができれば、まちの活性化にもつながるかも知れない。

委員：昔は、高校生が集まる場所があったが、今は駅前の商業施設からも店舗が撤退している状態である。そのような場所が市役所内にできて、学生たちがボランティアなどの時間外教育の場となれば良いのではないかな。

会長：教育委員会がこちらにくると、教育プラザはなくなるのかな。

事務局：跡地の活用については、未定である。

委員：庁舎に学生が集まるような機能というのは難しいかもしれない。シビックセンターの空きスペースなどの方が良いのではないかな。

委員：大人になって税金の事などを学ぶようになるが、学生の時に、市や国の事に触れていくことは大事だと思う。

事務局：情報発信コーナーなどを充実させて、学生が立ち寄るようになればよいのかと思う。

委員：最終的には、市として多目的スペースが必要になると思う。自由に割って使えるようなスペースがあれば良いと思う。中には映像や音響装置をきちんと整えて、職員の研修や市民の利用などができ

ると良いのではないか。

委員：駐車場は有料か、無料か。

事務局：今のところ有料化は考えていない。近隣の自治体でも有料にしているところは少ない。多賀の市民会館は、駐車場が100台しかないため、有料にしないと回転しないということがあり、有料とし、長時間駐車を防いでいる。

委員：減免措置を講じていると思うが。

事務局：1時間まで無料となっている。市民会館でサークル活動等を行っている人は、2時間まで無料としている。それ以降は、有料にさせていただいている。買い物に行くために駐車場に止めた方も有料である。

委員：レストランの話だが、会議に来たときに、付き添いの人が時間を過ごせるような場所があると良い。この周辺にはそういう場所が無く、車で待機したり、ロビーにいたりするが、不思議な目で見られる。食堂に自販機などを設置して、喫茶的に誰でも立ち寄れるようなところがあると助かる。

委員：県庁の食堂は、カロリー計算が表示されている。職員だけでなく、市役所を利用する市民もそういうものを利用できるようになれば、活性化が図れ、収入も上がるのではないか。

事務局：職員食堂でもカロリー計算をして表示している。

会長：私の大学の食堂でも、レシートにカロリーや塩分表示等がされている。

委員：市の職員もスマートになって良いのではないか。

会長：食堂がどの位置にあった方が良いかということについてのご意見は。

委員：高い場所から景色を見渡せるようになると、気分転換にもなるのではないか。実用的には下の方が良いのかもしれないが。

会長：事務局の方は、どのあたりにあれば良いと思うか。

委員：東京では、高層階に食堂がある事務所もあるが、高層階だとエレベーターに人が集中して利用しづらい。職員のシフト制を敷くなどの対応も難しいと思うので、市民の立場からすると景色がいい方がよいと思うが、メインが職員であれば、利用しやすさを中心に考えると良い。

会長：開庁時間や営業時間にも関係してくる。

委員：水戸医療センターは、レストランが最上階にあり、職員用が2/3で、一般用が1/3に分かれている。レジは共用だが職員は100円引きになる。この階にはギャラリーと床屋と自販機スペースもあり、多くの人が利用している。病院なので、カロリーも計算されている。安くておいしくて、景色も良い。震度5弱のときもエレベーターは自家発電で動いていた。そういうことから上階にあった方が良い。

委員：内部と外部の人の席が一緒なのは、よくないのではないか。

事務局：参考までに、現庁舎は4階建てだが、屋上からは海が見える。今回は、それ以上には高くなると思う。

委員：眺望に価値があるか、魅力的かということも考えるべき。

事務局：現実的な話としては、職員の昼食だけを対象としても、事業的にはペイしないと思われる。外部の利用も考える必要があると思う。

委員：職員が事務机で弁当を食べているのは気の毒である。バックスペースが必要だと思う。

事務局：職員のバックヤードも考えないと、窓口から見た時もあまり良い景色ではない。

会長：情報発信・共有機能について、何か意見はないか。

委員：コミュニティーの立場からすれば、23の地域に情報発信スペースを持っているので、本庁につくるとすれば、交流センターにはないようなものにしてもらいたい。

会長：学区ごとに必要な情報と市全体で必要な情報を分けてもらおうと良いか。

委員：市役所は色々なところにパンフレットが置いてあるが、1ヶ所に集中させてもらいたい。また、ケーブルテレビや、イベント、観光などのPRビデオを置いて、来るたびに同じものにならないように、できるだけ情報を更新してほしい。

副会長：各学区でどのようなことを行っているのかを、タッチパネル式で情報検索できるようになると良い。紙媒体だと、どこに何があるのか探すのも難しい。

会長：情報を集中しておくことも大事か。

事務局：学区ごとにホームページがあるので、それをタッチパネルで見ることができれば良いかと思う。日立駅の情報交流センターにもそのような機能はできてくると思う。

委員：今の公文書公開室は、車椅子で入るのがやっとなで、中で回転するのは難しい状態である。最低限、車椅子が動けるスペースは確保してほしい。

会長：大体、意見をいただいたので、参考に検討してほしい。これまでの意見をまとめると、会議室については、市民の利用は難しいと思うが、庁舎内の会議室が充実すれば、周辺の公共施設は市民が使いやすくなるということも含めて検討してほしい。レストランは、それほど立派なものではなく、位置については色々検討していただきたい。多目的スペースは使い勝手の良いものを。駐車場は無料で。ロビーや喫茶スペースなどを利用しやすく、バリアフリーについては当然配慮していただくということで。

会長：最後に、私の意見ですが、市庁舎を市民が誇れる顔にしてほしい。その中で、機能の項目を見て気になるのは、「景観」という言葉がどこにも出てこない。逆に、出てこないのが当たり前、きれいにつくるのは当たり前であるということかもしれないが、景観は機能としては重要。つくば市では基本方針に景観が前面に出されている。景観はぜいたくではなく、お金をかけなくても良くすることは可能である。そういう観点は、ぜひ入れてほしい。本市の敷地では、つくば市のようにはいかないと思うが、現庁舎は、玄関がどこにあるかもわからない状態である。少なくとも、顔＝玄関はつくらなくてははいけない。

委員：全体の形としては、奇をてらいすぎないように、平凡ではあるが、長持ちさせるためにも、左右対象でオーソドックスな形態が良い。

委員：春分、秋分の日には新庁舎の真正面から太陽が昇るとか、特徴を持ったものにするとう良いのではな

いか。

委員：市民が誇れるようなコンセプトがあると良い。

委員：日立が誇る桜を取り入れて、色も安心するサクラ色をどこかで上手に使っていくと良い。

会長：以上で、機能の議論は終わりにしたい。

以 上